令 和 2 年 度 の 事 業 報 告 書

令和2年4月1日から令和3年3月31日

特定非営利活動法人安房文化遺産フォーラム

1　事業の成果

戦争遺跡や中世城跡、漁村の歴史文化、豊かな自然環境などを「館山まるごと博物館」と位置づけて、調査・保全・活用のエコミュージアム活動を進め、先人の培った〝平和・交流・共生〟の精神を学び、教育支援や地域づくりを図ってきた。前年の台風被災に続く新型コロナウイルス感染症の災禍において、事業展開はかなり困難になっている。「コロナ禍で出来なかったこと・出来たこと」については、小規模博物館ネットワーク（小さいとこサミット）で報告し、そのレポートを YouTube で紹介している（▲QR）。

主たるガイド事業は約９割減と打撃を被ったものの、緊急事態宣言等の合間を縫うように、地元の館山総合高校１年生 101 名の「観光の学び」や、被災地視察ツアーなど 19 団体 308 名を実施した。

書籍事業に関しても、ガイドツアー減に伴い販売数が著しく低下した。年金者組合安房支部より文集『菜の花』編集委託を受けた。ホームページの充実、YouTube チャンネルの開設、Twitter・Facebook 等の発信とともに、オンラインショップ（通信販売 ▸QR）の開設等、情報発信に注力した。

戦後 75 年平和祈念事業として、渚の駅たてやまギャラリーにおいて「館山まるごと博物館」展を開催し、市内の戦争遺跡をはじめ先人たちが培った〝平和の文化〟やゆかりの芸術などを紹介した。また、事務所ショーウィンドウにおいても、元落下傘兵の版画家・秋山巌生誕 100 年記念展はじめ多様な安房の歴史文化を紹介する「館山まるごと博物館」展をおこなった。

前年度から続く台風復興事業においては、連携を図っている布良崎神社の復興イベント開催や神輿修復基金の呼びかけに協力するとともに、山林の倒木処理等に尽力した。

事務局を付託されている**【青木繁「海の幸」誕生の家と記念碑を保存する会】**（青木保存会と略）においては、青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅（館山市指定有形文化財）の管理団体である。コロナ禍につき当主の意向により休館しているが、前年度の台風 19 号で若干被災した屋根瓦の補修や周辺整備をおこなった。青木繁「海の幸」記念碑（1962 年建立）は、経年劣化と台風被災でコンクリートが剥がれ落ち鉄骨がむき出しであったものを補修した。全国の美術家から提供されたチャリティの〝青木繁オマージュ色紙展〟をオンライン開催とした。なお、この間の富崎地区の台風災害やコロナ禍を契機に、青木保存会の組織（事務局）・運営のあり方など、様々な課題が起きてきたことを受け止め、その方策の検討をはじめた。

千葉県教育委員会・安房高校より、旧安房南高校木造校舎（県指定有形文化財）の一般公開および通年の巡視に関する事業委託を受け、当 NPO が事務局を付託されている**【安房高等女学校木造校舎を愛する会】**の協力のもと、草刈り・掃除等の環境整備をおこなった。見学会については、コロナ禍のため中止となったが、代替事業として木造校舎の紹介動画（▸QR）を制作し配信した。

26 年目を迎えた**【ウガンダ支援交流】**については、10 月のウガンダコーヒー月間キャンペーンを安房地域内の 26 店舗とともに共同展開し、オンラインショップを通じて通年の販売につなげた。第 16 回安房・平和のための美術展においても、ウガンダ支援交流の紹介展示をおこなった。コロナ禍のため、安房西高校文化祭や館山病院感謝祭など従来開催していた支援バザーを開くことはできなかったが、従来どおりの支援額の送金に加え、ウガンダ安房南洋裁学校の卒業生らが制作したエプロンやバッグ等の製品を仕入れることができた。

【房総アワビ移民研究所】との協働による古文書の解読と歴史背景の調査研究は、南房総市まちづくり補助事業の２年目となる。渡米したアワビ漁師のリーダー（小谷仲治郎）旧宅から発見された断簡文書は、大半が海産物問屋「金澤屋」の書簡であり、研究チーム 15 名により約 400 枚の解読と目録整備を完了。明治期において殖産興業が進むなか、安房の水産業の先進的な役割が明らかになりつつある。市民へ周知し普及啓蒙の機会として「渡米アワビ漁師のふるさとをめぐるウォーキング」を南房総市千倉町千田区・長性寺で開催した。また、オンライン開催となった千葉県歴史教育者協議会研究会・エコレポ（▸QR）等で経過報告した。

（１）文化財や戦争遺跡を活用したガイド事業

① ガイド実績（上段:団体数、下段:人数、赤山ガイドサービス含む）　ガイドスタッフ延べ 240 名

2020	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
人数	2	0	7	0	25	9	15	231	6	0	0	13	308
団体	1	0	1	0	2	1	4	5	1	0	0	4	19

2019 年度:1,846 人 65 団体、2018 年度:2,496 人 69 団体、2017 年度:3,450 人 124 団体

・平和学習・歴史学習・総合学習・エコミュージアムまちづくり視察・被災地視察ツアー等

② 地域史の調査研究

・明治期渡米したアワビ漁師に関わる古文書調査

（２）書籍等の発行事業

① 地域紹介のガイドブックを作成し販売。

② 年金者組合安房支部より文集『なの花』編委託。

（３）その他の非営利事業　「館山まるごと博物館」まちづくり活動

① 情報発信

・会報
・公式サイト／Facebook／YouTube 「NPO 法人安房文化遺産フォーラム」
・Twitter／エコレポ「館山まるごと博物館」
・オンラインショップ（通信販売）「館山まるごと博物館」

② 青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会　（事務局付託）

・青木繁「海の幸」記念館の管理運営　（休館）
・屋根瓦修繕・手すり修繕・木伐採・庭園整備　4/2、5/18、8/　、10/19～24、11/11
・青木繁「海の幸」記念碑の補修　4/4～8
・青木繁オマージュ色紙展オンライン開催　12/28～2/28
・布良崎神社の復興支援　随時、9/26

③ 安房高等女学校木造校舎を愛する会　（事務局付託）
旧安房南高校木造校舎の県委託事業

・見学会：中止 ⇒ 木造校舎紹介動画作成（県文化財 YouTube）
・通年管理の巡視・窓開け・簡易掃除等
・草刈り・掃除・資料整理
・調査研究

④ 房総アワビ移民研究所（協働）　※南房総市チャレンジ補助事業

・古文書調査　・歴史調査
・学習会　7/6、9/12、10/11、11/7、12/5
・ウォーキング　11/3
・発表（歴史教育者協議会／小規模博物館ネットワーク）2/23　2/28

⑤ ウガンダ支援交流（協働）

・平和のための美術展　8/10～20
・ウガンダコーヒー月間 26 店舗　10/1～31

⑥ 安房フォーラム支援隊（協働）

・倒木処理（清水山、小原家住宅、十二天神社）　4/6,5/18,7/9,7/19,7/23~26,8/2,

⑦ 安房地域母親大会（協働）

・台風災害対策（館山市危機管理室と対談）　8/30
・SNS 学習・5G 問題　10/28

⑧ 市民活動団体との協働

・年金者組合安房支部
・安房・平和のための美術展　8/22～30
・かにた婦人の村
（草刈り・バザー・学習ボランティア）